

# ウェブ媒体を活用した日本産木材製品の輸出力の強化のためのプラットフォーム（ポータルサイト）の設置に係る企画提案書

提案者名：清水 康平  
代表者名：黒井 基晴

所属：株式会社ニューロマジック  
連絡担当者：橘 奈津実  
電話番号：080-3353-4994  
メール：natsumi.tachibana@neuromagic.com

項目番号	01
内容	<p>弊社は当該事業の目的・趣旨を、</p> <p><b>「日本産木材輸出ポータル」を「隣接するサイト」や「パンフレット」と連携させながら、ユーザーが求める情報にたどり着きやすい、使いやすいサイトに進化させ、その結果として「登録メンバー」の増加を促進し、日本産木材の輸出を強化すること。</b></p> <p>と理解しております。</p>
ビジュアル版	該当なし

項目番号	該当なし
内容	<p>まずは現状・方針を整理いたします。</p> <p><b>【隣接する団体や組織との関係性】</b></p> <p>現状各サイトに課題があり、ユーザーとしても「日本産木材輸出の情報を得たいが、核となるサイトがない」状態だと考えます。      その中で「日本産木材輸出ポータル」については、すでに保有する情報の幅・量はトップクラスです。      ゆえに、最も重要な課題はユーザーが求める情報にたどり着きやすい設計に再整理することであり、それが達成できれば「日本産木材輸出についての定番ポータルサイト」になりえると考えます。      ※ &lt;ビジュアル版資料2ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>【隣接するサイトなどとの関係性】</b></p> <p>「日本産木材の輸出強化」という大目的において、別の役割を持った隣接サイトが複数あります。      当サイトを「木材輸出についての定番ポータルサイト」として軸に据えながら、隣接サイトやパンフレットへの遷移も促すことで、ユーザーが各情報源を回遊しながら、多くの求める情報を得られることになると考えます。      ※ &lt;ビジュアル版資料3ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>↓ ↓</p> <p>以上を踏まえて、  <b>当事業の肝となるのは「ユーザー視点」と考えます。</b>  <b>「どんなユーザー」が「どんな状況」で「どのように」サイトを使いたいのかを徹底して追求し、どこまでもユーザーに寄り添ったサイトに変えることが必要です。</b></p> <p>↓ ↓</p> <p>では、対象となるユーザーは誰か。      日本産木材輸出ポータルのメインターゲットとなるのは以下と考えます。</p> <hr/> <p>①製材業者      ②木材卸売業者（材木問屋）      ③木材輸出業者      ④国外の木材輸入業者      ※ &lt;ビジュアル版資料4ページ&gt; をご覧ください。</p> <hr/> <p>上記ターゲットの解像度を上げるため、      まずペルソナ（※対象ターゲットを掘り下げた像）を作成しました。      ※ &lt;ビジュアル版資料5ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>大きなポイントとしては以下が読み取れます。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼できる、かつ使いやすいサイトがなく困っている ⇒デザインと最適な情報設計が最重要</li> <li>・「最新情報」を強く求めている ⇒いかに最新情報を速く的確に届けるかの工夫が必要</li> </ul> <hr/> <p>そういったペルソナはどのように「サイトを認知し、興味関心を持ち、メンバー登録を行い定着する」のか。      その流れを仮定しました。      ※ &lt;ビジュアル版資料6ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>各フェーズでの「想定されるサイト離脱要素」などを踏まえ、大きく施策をまとめると以下となります。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知段階フェーズ（サイトに流入時）             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーザーは常に多忙。メインビジュアル、トップページで少しでもネガティブな要素があればすぐに離脱してしまうと考え、「サイトの価値、サイトの全体像」は迅速に伝える。</li> <li>○ デザインにおいても「古臭さ」を感じさせない、ユーザーを惹きつけられるデザインが必要。</li> <li>○ 国内向けの情報が多いからこそ、「海外の事業者」はすぐにサイトの価値を感じられない可能性がある。「海外事業者向けの情報」は1ページに集約して、すぐにそちらに遷移させる。</li> </ul> </li> </ul>

- **興味関心フェーズ**

- 総じてユーザー目線で情報を再設計する。
- 特に「海外の事業者」には「JAPANESE FOREST」や「外部マッチングサイト」への導線も重要か。

- **メンバー登録フェーズ**

- 「登録案内」はコンバージョンの一つのため目立たせ、「登録案内」ページでメリットなどを簡潔に伝える
- 申込の煩雑さで離脱しないよう、オンラインで完結させたい。

- **定着フェーズ**

- ユーザーに一律で同じ最新情報を配信するのではなく、「ユーザーが興味のある最新情報を配信」することで、サイトに流入する可能性を上げる。
- マイページに「ユーザーが興味のある情報」を集約することで、すぐに情報を取得できるようにする。

また、情報設計において確実に押さえておくべき課題をまとめました。

※ <ビジュアル版資料7~8ページ>をご覧ください。

それを踏まえて、参考となるサイトを掲載しています。

※ <ビジュアル版資料9ページ>をご覧ください。

これらを踏まえて、各施策をご提案します。

ビジュアル版

2ページ~9ページ

項目番号	02
内容	<p><b>(1) サイトのグローバル化</b></p> <p><b>【言語切り替え仕様】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● サイト閲覧者（訪問者）がどのページでもヘッダーから言語選択（切り替え）できるようにします。</li><li>● 翻訳ツールは以下の理由からGoogle APIを使用します。<ul style="list-style-type: none"><li>○ サイト内で50万文字までの翻訳であれば無料利用できること（現時点での情報量ですとしばらくは無料利用が可能と考えます）</li><li>○ 他無料翻訳ツールは突然サービスが終了するなどの恐れもあり、現状無料ツールの中では「Google API」が安全であること。</li></ul></li></ul> <p><b>【精度の高い翻訳対象ページ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 以下のページについては翻訳家を介し精度の高い翻訳を実施します。<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「海外の事業者」が頻度高く閲覧する可能性のある、かつ運用面の負担を考え基本更新がないページ<ul style="list-style-type: none"><li>■ トップページ</li><li>■ 海外事業者向けページ</li><li>■ 私たちのこと</li><li>■ お問い合わせ</li></ul></li></ul></li></ul>
ビジュアル版	該当ページなし

項目番号	該当なし
内容	<p><b>(2) 情報の整理と発信</b></p> <p><b>【サイトマップ】</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料10ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■方針</b></p> <p>既存登録メンバーの「現行サイトの習熟度」を考慮すると、大幅なサイト構造（メニュー）の変更はリスクとなる可能性があります（大きく変えてしまうと既存登録メンバーが混乱し離脱につながる恐れ）。  <b>主要な構造は変えずに必要なポイントに手を入れていく</b>ことを推奨します。</p> <p><b>■実施した内容</b></p> <p>選択肢が多いと、適切な選択をするのに負荷が生じるため、「類似コンテンツ」を結合し選択肢を減らします。また、<b>ユーザーニーズのありそうなコンテンツは適宜追加</b>しました。  詳細はサイトマップと合わせてご覧ください。</p> <p><b>【トップページデザイン】</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料11～13ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■方針</b></p> <p>公的サイトである信頼性を担保しつつ、日本の良質な木材を海外へ輸出していることを想起させるイメージをメインビジュアルに採用しました。  デザインのギミックに頼ることなく、「目線の流れを考慮したレイアウト」や「細かな文字サイズの調整」などで、<b>万人に情報の見やすさ・使いやすさを感じてもらえるデザイン</b>を目指しました。</p> <p>また、メインビジュアルを変更した別案や、デザイン要素をシンプルにした別案もご用意しました。</p> <p><b>【各ページワイヤーフレーム】</b></p> <p>今回の目的として「ユーザーが求める情報にたどり着きやすい、使いやすいサイト」を据えているため、各ページで「どう情報を設計するのか」は重要と考え、下層ワイヤーフレームは多めに作成しております。</p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料14～30ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>【その他補足】</b></p> <p><b>■各仕様</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「サイト内全検索」のツールは無料で利用できるかつ、サービス終了などのリスクも低いGoogle検索を利用します。</li> <li>イベントカレンダーは現状のCSVを更新する仕様で実現します。カレンダーは日本語のみとし、他の言語が選択されているときも日本語表示とします。</li> <li>Japan Wood Brand（各国言語）をデジタルブック化して掲載します。</li> <li>新規に制作される日本産木材製品輸出強化のための動画は「各種資料」などに掲載想定です。</li> <li>Google Analyticsを導入し、アクセス情報を把握できるようにします。</li> <li>登録メンバーは個人と事業者、ウェブ会員、その他（林野庁等）など、種別の設定を予定しており、メンバーの種別により、サービス内容を差別化することは可能です。詳細は制作時に検討できればと思います。</li> </ul> <p><b>■JWEL、J-WISHについて</b></p> <p>現状サイトで検索できる製品数やサプライヤー・バイヤーが少ないため、まずはその増加が急務かと存じます。</p> <p>考えられうる対策としては、まず「サイトを利用することでのメリットや使い方をトップページなどで分かりやすく打ち出す」ことが必要かと思えます。もちろんそのメッセージは、ターゲットに寄り添ったものであるべきです。</p> <p>本事業におけるターゲットと、JWEL、J-WISHのターゲットは類似する部分もあると思えますので、並行してユーザー目線でのJWEL・J-WISHの改善は可能かと思えます。</p> <p>ただし予算的な問題がございますので、今回は以下あたりの対応を検討いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トップページのワイヤーフレーム検討</li> </ul>

- 「日本産木材情報ポータル」との相互リンク活用
- サーバー移行におけるサポート

■情報発信について

- メールでの一斉配信システム、LINE公式アカウントの開設を行います。詳細は「02. (3)登録メンバー向けの情報発信強化」に記載いたします。

↓  
↓

ここまでのご提案は、現状での「仮説」に基づいたものとなります。

「ユーザー目線」のサイト制作では、実際のユーザーに意見を聞き、検証することが何より重要です。それにより、仮説を「確かな説」に変えることができます。

そのための施策をご提案いたします。

※ <ビジュアル版資料31~36ページ> をご覧ください。

ビジュアル版

10ページ~36ページ

項目番号	02
内容	<p><b>(3) 登録メンバー向けの情報発信強化</b></p> <p>以下のような流れでご提案します。</p> <hr/> <p><b>【登録メンバーへの情報発信強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 配信メール、マイページを活用した最適なシステムの構築</li> <li>● LINE公式アカウントの開設</li> </ul> <p><b>【メンバー数増大のための工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録への導線強化</li> <li>● メンバー限定ページの見直し</li> <li>● メンバー登録の簡易化</li> <li>● メンバー情報の強化（メンバーになることでの特典増加）</li> </ul> <p><b>【その他補足】</b></p> <hr/> <p><b>【登録メンバーへの情報発信強化】</b></p> <p>■配信メール、マイページを活用した最適なシステムの構築  ※ &lt;ビジュアル版資料37～39ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>■LINE公式アカウントの開設  パーソナライズされていない配信（全登録者へ一斉配信）については、メールとLINEをAPIで連携させ、一斉に送付できるようにします。  ※ &lt;ビジュアル版資料40ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>【メンバー数増大のための工夫】</b></p> <p>■登録への導線強化  現状メンバー限定ページをクリックするといきなりIDとパスワードが求められますが、これに代わり<b>メンバー登録への導線を表示</b>させることで登録を促進します（登録のご案内へリンク）。  ※ &lt;ビジュアル版資料41ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>また、ワイヤーフレームにて前述したように、「<b>登録導線をメインビジュアルから追従させる</b>」ことや、「<b>入会のご案内ページの構成見直し</b>」も実施します。</p> <p>■メンバー限定ページの見直し  ※ &lt;ビジュアル版資料42ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>■メンバー登録の簡易化  現状紙かFAXとなっている登録フローをオンラインで完結させることで、登録のハードルを下げます。（現状の運用体制をヒアリングした後に実施可否や詳細検討いたします）  ※ &lt;ビジュアル版資料43ページ&gt; をご覧ください。</p> <p>■メンバー情報の強化（メンバーになることでの特典増加）  登録メンバーの情報を拡充することで、「登録することのメリット」を増やします。  ※ &lt;ビジュアル版資料44～45ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>【その他補足】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存のメンバー管理DBを活用して、メンバーの認証を検討・対応いたします。</li> <li>● 日本木材輸出振興協会の認証情報でJWEL、J-WISHにもログインできる機能（SSO機能）については、システムの調査後、対応可能であれば実装を検討いたします。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>メンバー種別を設けてサービス提供内容の差別化は可能ですが、詳細は制作時に検討できればと思います。</li></ul>
ビジュアル版	37ページ~45ページ

項目番号	02
内容	<b>(4) サーバの移行</b> ※ <ビジュアル版資料46ページ>をご覧ください。
ビジュアル版	46ページ

項目番号	02
内容	<p><b>(5) 日本産木材輸出力強化のための活動内容を紹介するパンフレットの作成</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料47ページ&gt; をご覧ください。</p>
ビジュアル版	47ページ

項目番号	03
内容	<p>■もりんく ⇒本事業とも親和性のある、貴協会から請け負った案件です。</p> <p>■某官公庁 大規模ポータルサイト ⇒本事業と非常にコンセプトが似ている案件です。</p> <p>■株式会社 鶴見精機 ⇒本事業でご提案した「ペルソナ」や「カスタマージャーニーマップ」を使用した案件です。</p> <p>■マイヤーブランドサイト ⇒ユーザーベースでマーケティングを支援した案件です。</p> <p>各詳細は※ &lt;ビジュアル版資料48～51ページ&gt; をご覧ください。</p>
ビジュアル版	48ページ～51ページ

項目番号	04
内容	<p><b>■体制図</b></p> <p>経験豊富な弊社メンバーにて、サイト構築からXserverのサポートまで一貫して担当いたします。機密保持の観点から情報の取り扱いに留意し、その他、業務委託仕様書の記述内容に対し、遵守して制作を進めます。</p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料52ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■主要メンバープロフィール</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料53ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■スケジュール</b></p> <p>12月末でログイン機能などのシステム部分以外を一次公開、2024年2月中での全公開を考えております。また、パンフレットは並行して進行し12月末までの納品で考えております。</p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料54ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■ワーク・ライフ・バランスに関する取り組み</b></p> <p>ニューロマジックの標準的な労務管理の手法を本システム開発にも適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 各メンバーの作業状況をタイマー形式で集計することで、正確な作業状況と作業量を把握し、一部メンバーに負荷が偏ることを抑止します。</li><li>● フレックスタイム制を実施しており、コアタイム以外の作業時間は本人の裁量を認めています。</li><li>● 2020年3月以降、テレワークを実施しており、必要最小限の出勤にとどめています（平均2～3ヶ月に1日出社程度）</li><li>● やむなく時間外労働、休日労働が発生する場合も、労働基準法第36条「時間外・休日労働に関する協定届」を遵守します。</li><li>● 担当メンバーの作業負荷が予定を超過した場合、他メンバーの増員をします。もし外部協力会社への依頼が発生する場合、事前に申請いたします。</li></ul>
ビジュアル版	52ページ～54ページ

項目番号	05
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>別記1：業務実施に当たっての遵守事項</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 業務委託仕様書の「秘密保持、資料の取扱い」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「事業者情報、個人情報の取扱い」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「法令等の遵守」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「情報セキュリティ、標準への準拠」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「監査の実施」の内容について確認しました。これを遵守します。</li></ul></li><li>● <b>別記2：成果物の取扱いに関する事項</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 業務委託仕様書の「知的財産権の帰属」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「契約不適合責任」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「検収」の内容について確認しました。これを遵守します。</li></ul></li><li>● <b>別記3：再委託に関する事項</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 業務委託仕様書の「再委託の制限及び再委託を認める場合の条件」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「承認手続」の内容について確認しました。これを遵守します。</li><li>○ 業務委託仕様書の「再委託先の契約違反等」の内容について確認しました。これを遵守します。</li></ul></li><li>● <b>別記4：特記事項</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ 業務委託仕様書の「特記事項」の内容について確認しました。これを遵守します。</li></ul></li></ul>
ビジュアル版	該当ページなし

項目番号	06
内容	<p><b>■制作の進め方 / 作業内容</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料55ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■品質管理・テスト・教育</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料56ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■動作保証環境</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料57ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>■横断的業務が発生した場合や追加・修正等の発生時における可能な対応方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 予期せぬ追加作業発生の際などは以下対処法にて可能な限り柔軟に対応いたします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 制作チーム内でMTGを持ち、作業内容の分解、最適な対応方法を検討します。</li> <li>○ 社内全体の知見も動員し、対応方法を検討します。</li> <li>○ 一部スケジュールの短縮などで納期を守れるように努力します。</li> <li>○ 場合によっては一次的なメンバー増員を行います。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>■制作段階及び運用段階で想定される事務局の対応や負担軽減等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記の「品質管理・テスト・教育」などを実施することで余計な確認や出し戻しの手間を省き、スムーズに制作が進行するようにいたします。</li> <li>● 情報を追加するコンテンツの運用については、特定のご担当者様に依存することにならないように、できるだけ簡易に更新できる設計を行い、手順書を作成いたします。</li> <li>● 「新着情報」や「海外木材情報」については、各記事のクリック数をGoogle Analyticsなどで計測できるようにし、ユーザーの需要を確認し以降の発信に活用できるようにします。</li> </ul> <p><b>■補足：CMSについて</b></p> <p>運用におけるCMSの導入（スクラッチで構築し運用費をかけないタイプ）も検討しましたが、今後どれくらいの頻度で更新が行われていくか不明瞭なため、CMSを導入する費用対効果が見えづらいと考えました。そのため、他施策に予算を回しておりますが、もしも今後の更新体制を踏まえてCMS導入の費用対効果が大きい場合は、他施策と入れ替えるなども検討できればと思います。</p>
ビジュアル版	55ページ～57ページ

項目番号	07
内容	<p>サイトの使いやすさ向上、発信強化などを行うことで、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・登録メンバー数の増大</li><li>・サイト満足度の向上（登録メンバーに対するアンケート）</li></ul> <p>などは効果として見込めるかと思えます。</p> <p>細かく計測する場合は、各施策に対して以下のようなことが考えられます。</p> <p><b>(1) サイトのグローバル化</b></p> <p>木材輸出重点国（中国、台湾、韓国、米国）を対象にサイトのグローバル化（各国語対応・翻訳）を実施することで、木材輸出重点国のユーザビリティの向上が見込まれます。</p> <p>サイト公開後、国外ユーザーが「どのような導線で」「どのページを閲覧しているか」をGAで調査し、仮説との整合性を確かめるなどがあります。</p> <p><b>(2) 情報の整理と発信</b></p> <p>サイト構造・レイアウト・デザインの整理・改修を実施することで、情報取得の易化が見込まれます。</p> <p>ユーザーが求める情報をできるだけ迷わずに、速やかに確認・入手できることを想定しております。</p> <p>それによりGAにおいて直帰率などの改善が見込まれます。</p> <p><b>(3) 登録メンバー向けの情報発信強化</b></p> <p>登録メンバーへの情報発信を強化することで、メールなどからサイトへの流入増加が見込めます。効果測定として「配信メールからの流入数」の計測はありえます。</p> <p><b>(5) 日本産木材輸出力強化のための活動内容を紹介するパンフレットの作成</b></p> <p>パンフレットを作成することで、活動の認知・情報取得、および登録メンバー数の増大が見込まれます。</p> <p>効果測定として、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パンフレット経由でのアクセス数</li></ul> <p>をGAにて計測可能です（パンフレットのQRコードから）。</p>
ビジュアル版	該当ページなし

項目番号	08
内容	<p><b>(1) ホワイトペーパー活用</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料58ページ&gt; をご覧ください。</p> <p><b>(2) SNS活用</b></p> <p>※ &lt;ビジュアル版資料59ページ&gt; をご覧ください。</p>
ビジュアル版	58ページ～59ページ